



オリンピック2024年直前旅行記



今年は何と言ってもこれから盛り上がるのは、7月26日から始まるパリオリンピック・パラリンピックでしょう。パリの広さは東京の山手線の内側とほぼ同じ面積といわれています。パリ中心部の観光主要箇所は徒歩でも回れるので、知らず知らず20万歩歩いている、ということもありました。歩きやすい靴が、必須でした。



(コンドルト広場)

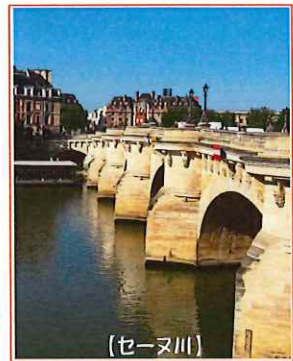
フランス革命により、ルイ16世とマリーアントワネットが処刑され、1836年にエジプトから贈られた紀元前1300年のオベリスクも建てられているコンコルド広場では、3人制バスケットボール・ブレイクダンス・自転車(BMXフリースタイル)・スケートボードの競技が行われます。



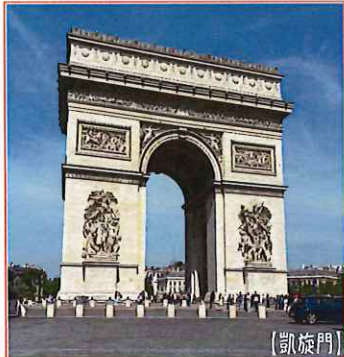
(エッフェル塔)

エッフェル塔ではビーチバレー、アンバリット橋ではアーチェリーが行われます。

このように、美しい歴史的建造物と、競技を見ることができるのは、パリならではの。セーヌ川を使って選手入場、そしてなんと、水泳(オープンウォーター)・陸上(マラソン・競歩)・自転車(ロードレース)・トライアスロンもイエナ橋という場所から行われるそうです。水質はなかなか悪そうなので、選手たちが可哀想に思いました。ただ、船で清掃しているようですし、市長さんは水質の良さを証明するため6月末に泳ぐそうです。果たして大丈夫なのでしょうか?!理由をつけてセーヌ川に入らないのでは?という意見もありました。



(セーヌ川)



(凱旋門)



渡仏した6月上旬でも、ノルマンディー大作戦80年となるのに合わせてアメリカのバイデン大統領の来仏も相まり警戒態勢でしたが、オリンピックでも駅ごと封鎖されている箇所が少なからずあり、余波がパリ市内にも多く出ているようでした。

電車に乗る際には、ile de Franceという(suicaのようなもの)を使い、改札機を通ろうとしたところ感知せず通れないことも多くあり苦労しました。(こんなこと日本ではないですよ)そんな時でも困っていると見知らぬ方が「一緒に自分のチケットで入ろう!」と声をかけて入れてくれたことも!日本と全く違い、うまくいかない事の方が多い国では、まさにケ・セラ・セラ。臨機応変にしたたかに生きていくのが必要なのだろうなと思いました。

パリは芸術が素晴らしく、美しい建物やとびきり美味しいカフェ、颯爽と歩く人々で溢れている街である反面、よく見ればタバコの吸い殻や糞、物乞いの人々も少なからずいる、混沌とした街でもありました。

オリンピックでは、スポーツと共に建造物の美しさに目が釘付けになりつつも、清濁あわせ持つ何とも言えない雰囲気にも魅かれる方も多いのではと思います。今からとても楽しみです!



総務部 佐藤



フランスでは挨拶がとても大切!ボンジュール(こんにちは!)挨拶はまず自分から。お店、カフェ、ホテルでも言わずしてサービスは受けられないと思った方が良いでしょう。メルシー!(ありがとう)もお忘れなく。



株式会社光陽
〒351-0022
埼玉県朝霞市東弁財1丁目7番30号
TEL048-465-1151(代表)

- 瓦版委員: 老川、秋田、佐藤 山中、山田、鹿江、坂下
- 発行日: 令和6年 7月 1日

休業日・夜間緊急連絡先
株式会社バイオニアコミュニティー
TEL048-476-0260